

平成27年4月7日  
北海道旅客鉄道株式会社

## 江差線 札苅駅・木古内駅間での停電による 輸送障害の原因について

### 1. 概況

平成27年4月5日（日）17時47分 札苅駅～吉岡海底間で、停電が発生しました。（その後19時05分 停電区間が札苅駅～木古内駅間と判明しております。）

調査の結果、電車に電源を供給する電線を吊り下げている絶縁碍子（がいし）が破損し、垂下した電線と架線が接触しているのを発見し、碍子の復旧作業を行い、20時53分に運転を再開しました。

### 2. 原因

絶縁碍子（5個連）金属部が、老朽化と塩害により腐食が進行し、折からの強風も相まって上部から4番目と5番目の間で分離し、垂下した電線と架線を支持する可動ブラケットと接触し、ショートしたためです。

### 3. 付記

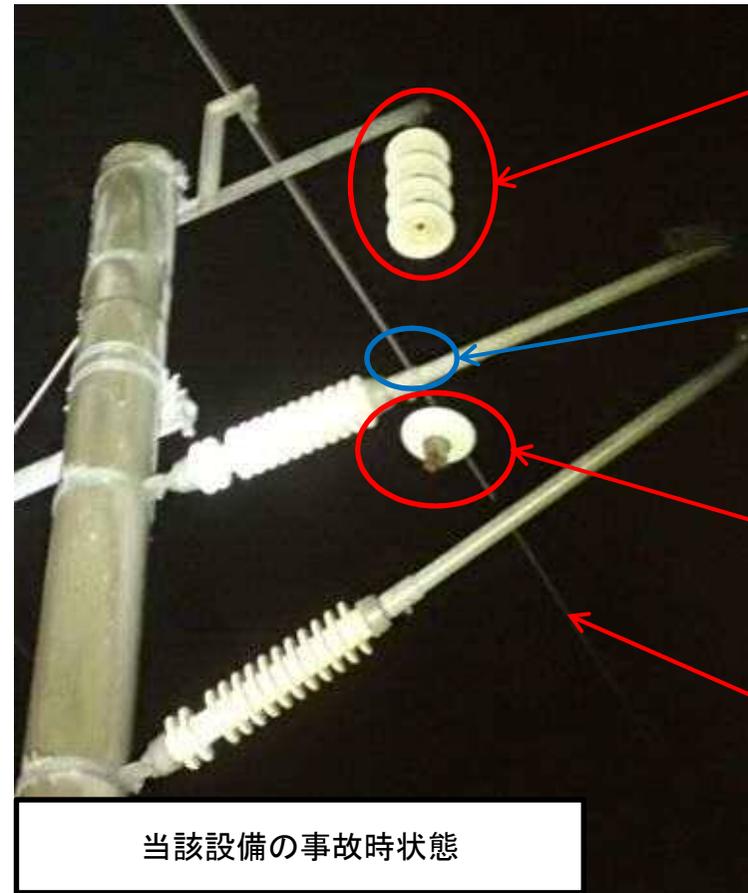
- （1）当該設備は、懸垂碍子（直径250mm×5個）1984年製で経年31年。海峡線開業当初からの設備です。
- （2）当該区間は塩害地区です。
- （3）当該設備の前回検査は、2014年4月15日に実施し異常は認められませんでした。
- （4）復旧作業は、破損した絶縁碍子の取替とき電線の補修を行いました。
- （5）列車影響 運休4本、遅延6本（旅客6本255分～50分）
- （6）影響人員 約500人

### 4. 対策

- ・江差線の同環境下にある、同種設備の緊急点検を実施します。  
（4月6日から実施し4月中旬終了目途）
- ・腐食が進行している絶縁碍子について、計画的に取替を実施していきます。

江差線 札苅～木古内間 碍子破損について

別紙



懸垂碍子  
(4番目まで残っている)

懸垂碍子の上部から4番目と5番目が分離・垂下し、垂下したき電線と架線を支持するブラケットが接触

懸垂碍子  
(分離した5番目)

き電線



破損した碍子(種別 懸垂碍子 直径250mm×5個連)